

1歳児の発達的特徴

人から人間へ(見たがいや・やいたがいや・知いたがいや)

★信頼できる大人の指示言葉に従える
★(自分で!自分が!自分も!)と自我の芽ばえる時期

豊かな自我を育もう! 意思のある自我を育てる

- ★目的を持ち始める自我...行動に見通しをつけてあげると目的に向かう
具体物を通して見通しをつけてあげると目的が明確になる
- ★選択する自我...選択枠は二つまでだとしっかり選べる(自分のもの意識を育てる)
(~ではない~だ)と意思表示できる
- ★要求する自我...自分の要求を一語文・二語文・多語文で伝える
自己をコントロールし始める自我
見通しをつけてあげると少しの間待てる
- ★仲間と関わろうとする自我...保育士を仲立ちにして、子ども同士共感し合う
自己主張して相手(大人・子ども)に言葉や動作で要求していく



全身運動面

ロボット歩き・あっちこっち見て歩く・手をつないで歩く
(転倒に気をつける)



- ★変化する素材あそび
(水・土・砂・寒天・小麦粉・片栗粉・粘土・新聞紙)
- ★探索を楽しむお散歩
- ★お友達と一緒にみたてつもりあそび

話し言葉

- ・指さし(手差しが出たら言葉が必ずでる)
- ・行動をとめる言葉は理解できない
- ・理解言語から表出言語へ
- ・具体物を通して大人が見通しをつけてあげると、少し待つことができる

手指操作

- ・人差し指と親指を使う(つまむ)
 - ・道具を使い始める⇒物を作る手へ
 - ・壊すことが大好き⇒壊すことから作る手へ
- 指あそび等もたくさん取り入れよう!

概念形成

命名機能...物には名前がある事がわかる



この時期の子どもにつけて欲しい力!

- ★人間らしく生きていく力...自分だけでなく仲間の事も考えて、
仲間と一緒に共感する優しさ・思いやりのある子へ